

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
建築構法	村林 桂	講義	2	建築士	1,2	3	1,2,3,4
授業概要 授業目的	<p>建築を初めて学ぶ学生に、建築物の構成やしくみを総合的に解説する。 テキストに従い、前半の躯体構法では各種の建築構造体について、後半の各部構法では下地材や仕上げ材の特徴や施工方法等について、現場写真や実物サンプルを交えて具体的に解説する。</p>						
到達目標	<p>構造や意匠、材料、施工等の各分野での深い知識を得る前に、建築設計監理者の視点から捉えた建築構法全般について、広い知識を習得することを目標とする。</p>						
回	学習内容						
1	ガイダンス、建築構法概論						
2	躯体構法 建築物への荷重・外力						
3	躯体構法 鉄骨造						
4	躯体構法 鉄筋コンクリート造、壁式構造						
5	躯体構法 補強組積造・組積造						
6	躯体構法 プレストレストコンクリート造						
7	躯体構法 鉄骨鉄筋コンクリート造						
8	躯体構法 木造(材料と構造)						
9	躯体構法 木造(部材の接合法、その他)						
10	各部構法 地業、基礎						
11	各部構法 屋根、壁						
12	各部構法 開口部、建具						
13	各部構法 床、階段						
14	各部構法 天井、造作、設計と構法						
15	試験 終了後に解説						
予習内容	予習 次回の講義内容についてテキストを熟読し、概要を理解しておく。						
復習内容	復習 講義で指摘があった重要項目について再度内容を確認する。						
教科書	「建築構法 第五版」内田祥哉著 市ヶ谷出版						
成績評価	授業ごとに行う小レポート(50%)および試験結果(50%)により評価する。 また、6回以上欠席、試験欠席の場合は、評価の対象外とする。						
実務経験	一級建築士として建築設計事務所を運営している経験を活かし、授業では実情に即した建築構法についてわかりやすく講義する。						
その他 特記事項							